

第3回・流域圏学会(2013)総会・学術研究発表会のご案内

日時：平成25年9月28日(土) 09:30~17:45 (開会 10:00)
場所：高知工科大学 C棟-102教室

第3回・流域圏学会・総会・学術研究発表会は山・川・海をつなぐ流域圏に係る研究や社会活動に携わっている関係者(Stake Holder)の横断的な意見や情報の交流を深める場になることを目的として、平成25年9月28日(土) 09:30~17:20(開会 10:00)に高知工科大学 C-102教室にて開催されます。翌日の9月29日(日)の午前中に高知市を貫流する鏡川の現地見学会も予定していますので、ふるってご参加ください。

※9月28日(土)のユースセッションとポスターセッションおよび企画セッションは一般公開され参加費無料です。9月29日(日)の現地見学会もボランティア会員等の自家用車に自己責任で同乗されれば無料ですが、人数確認のために9月28日 17:00-17:05 フィールド・エクスカーション「鏡川」ガイドの終了直後までに会場受付で参加申し込みを行って下さい。RECCA(高知)セッションも一般公開(無料)対象です。

【主催】流域圏学会

【共催】高知工科大学 <調整中>

【後援】高知大学、高知県立大学、国立高知工業高等専門学校 <調整中>
高知県、高知県教育委員会 <調整中>

プログラム

9月28日(土)

- 09:30- 受付
- 10:00-10:05 開会挨拶 流域圏学会・会長(松下潤)、大会実行委員会・委員長(村上雅博)
- 10:05-10:25 ユースセッション: 座長: 齋幸治(高知大)
「四万十川流域のシチュウゲ」
○高知県立・四万十高校
- 10:25-11:05 企画セッション(1) 特別企画講演 座長: 齋幸治(高知大)
「諏訪湖から学んだ人間社会と生態系の関わり」
○花里孝幸(信州大学・教授)
- 11:05-11:10 休憩
- 11:10-12:00 総会
- 12:00-14:00 昼食・ポスターセッション・企画セッション
- 12:00-13:00 ポスターセッション[1]: 座長・進行: 一色健司(高知県立大)
- P1: 耐塩性植物の成長特性とコンポスト利用による土壌塩類集積問題
○¹毛利徹、²中曾拓、³土方野分、¹村上雅博(¹高知工科大学、²国際協力機構、³北海道大学)
- P2: 小水力発電導入を考慮した中山間地コミュニティ機能再生計画
○¹田中敬史、²松田晋一、¹村上雅博(¹高知工科大学、²愛媛大学大学院)
- P3: 半閉鎖水域における底泥からのミジンコの孵化
○石船貴信、小林将則、村上雅博(高知工科大学)
- P4: 石土池における水質変化とミジンコの関係性
○浦安慧、押谷優、細川忠幸、村上雅博(高知工科大学大学院)
- P5: 米国ワシントン州エルワ(Elwha)ダム撤去現場の現状
○¹押谷優、¹浦安慧、²西谷智子、²村上雅博(¹高知工科大・大学院、²高知工科大)
- P6: バリ島における都市開発に伴う水環境衛生問題
○小柳亮(高知工科大学)、山本浩一(山口大学)
- P7: 近赤外レーザーを用いた大気中メタン濃度測定システムの性能評価 - 最適光路長を活用した光学系の検討 -
○芝崎俊哉、山崎奈摘、川上真輝、白谷真菜、松岡祐樹、宮川結衣、居神凌汰、中根英昭(高知工科大学)
- P8: 可搬型レーザーメタン計を用いた水田におけるメタン濃度、発生量測定の可能性 - 実地観測による検討 -
○川上真輝、芝崎俊哉、白谷真菜、松岡祐樹、宮川結衣、山崎奈摘、中根英昭(高知工科大学)
- P9: 二次元河床変動解析による安芸川の洪水流況・河床変動特性の考察
○¹山崎廣、²和泉征良、¹岡田将治(高知工専・¹環境都市デザイン工学科、²専攻科建設工学科)
- P10: 平面二次元解析による四万十川アユの瀬再生事業区間における洪水流況特性
○¹池野裕貴、²和泉征良、¹岡田将治(高知工専・¹環境都市デザイン工学科、²専攻科建設工学科)

- P11: 四万十川における ADCP の反射強度を用いた洪水水中の浮遊砂量推定
 ○¹松本優希、²竹内慈永、¹岡田将治(高知工専・¹環境都市デザイン工学科、²専攻科建設工学科)
- P12: 二次元河床変動解析による掃流砂速度の推定と実測値との比較
 ○²和泉征良、²竹内 慈永、¹岡田将治(高知工専・¹環境都市デザイン工学科、²専攻科建設工学科)
- 13:00-14:00 **ポスターセッション[2]: RECCA(高知)2013** :座長・進行:西森基貴(農業環境技術研究所)
 ☆気候変動適応プログラム -RECCA(高知)2013 -
- P13: ADCP と RTK-GPS を用いた洪水時における流況と掃流砂速度の同時計測とその考察
 ○¹高橋湧生、²竹内慈永、¹岡田将治(高知工専・¹環境都市デザイン工学科、²専攻科建設工学科)
- P14: 鏡川の平水時における水質に対する降雨増水の影響
 ○一色健司(高知県立大学・地域教育研究センター)、油布千夏(高知県立大学生活科学部環境理学科)
- P15: 台風により高知県にもたらされる短時間強雨の月変化
 ○牧草ひとみ(高知大院理)、佐々浩司(高知大理)
- P16: 地球温暖化の影響を受ける土佐湾沖黒潮海流の三次元的な海水温度変化特性
 ○¹細川忠幸、²村田圭祐、³村上雅博(¹高知工科大学大学院、²土佐清水市、³高知工科大学)
- P17: カワニナの水質浄化能力と温度別活性
 ○小林将則¹、浦安慧²、押谷優²、村上雅博¹(高知工科大学¹、高知工科大学大学院²)
- P18: 高知城内堀の水温上昇による魚類の活性度と濁度の関係性
 ○大河内哲也⁽¹⁾、浦安慧⁽²⁾、押谷優⁽²⁾、村上雅博⁽¹⁾(高知工科大学⁽¹⁾、高知工科大学大学院⁽²⁾)
- P19: 高知市水道局鏡川水系浄水場原水の水質モニタリングと Geosmin/2-Methylisoborneol
 ○笹沼聖輝(高知工科大学)、山崎慎一(高知高専)、村上雅博(高知工科大学)
- P20: フィルムの熱線反射機能が冬季のハウス内環境とハクサイの生育に及ぼす影響
 ○西村安代¹・松岡和幸¹・有賀広志²・森牧人¹・能島知宏¹(¹高知大・農学部・²旭硝子(株))
- P21: 夏季の温室環境下におけるナスの水分消費
 ○中村翔吾¹・森牧人¹・西村安代¹・能島智宏¹・安武大輔¹・西森基貴²(¹高知大・農学部・²農業環境技術研究所)
- P22: 気候変動に適応するための水稲収量・食味予測システムの開発と温暖化シナリオ
 ○坂田雅正(高知県農技センター)・西森基貴・長谷川利弘(農環研)
- P23: 東北地方における水稲最適品種の将来変化
 ○吉田龍平¹・福井眞²・島田照久¹・長谷川利弘²・岩崎俊樹¹(¹東北大学理学系研究科 ²農環研)
- 14:00-15:00 **企画セッション(2) 気候変動適応プログラム-RECCA 高知** 座長:吉田龍平(東北大学)
 K1: 東北地域のヤマセと冬季モンスーンの先進的ダウンスケール研究
 ○菅野洋光((独)農研機構東北農業研究センター)
- K2: 高知県における地域の水資源と農業-豪雨と農業気象災害発生との関係-
 ○西森基貴*(農環研)・坂田雅正(高知県農技センター)・佐々浩司(高知大)
- K3: 確率台風モデルを用いた台風暴露人口の将来予測と、台風経路・強度パターンの抽出
 ○井芹慶彦(東京工業大学大学院理工学研究科)、楠原啓右(東京工業大学大学院情報理工学研究科)、岩崎明希人(東京工業大学大学院情報理工学研究科)、鼎信次郎(東京工業大学大学院理工学研究科)
- 15:00-15:20 **休憩**
- 15:20-16:00 **一般講演セッション** 座長:中根英昭(高知工科大学)
 K4: 地球温暖化の影響下にある高知県大豊町・梶ヶ森山頂の樹氷中の PM2.5 フライアッシュ
 ○今井昭二・佐名川洋佑(徳島大学・総合科学部)、北條正司(高知大学理学部)
- K5: 高知県および四国地方における環境容量の試算と GIS による可視化
 ○大西文秀(ヒト自然系 GIS ラボ)
- 16:00-17:00 **企画セッション(3) 基調講演**
「流域水循環における森林の役割～緑のダムの迷信～」
 ○虫明功臣(東京大学・名誉教授)
- 17:00-17:05 **「鏡川」ガイドランス:** フィールド・エクスカージョン案内 高知県河川課
- 17:05-17:15 **表彰式** [表彰委員会]
- 17:15-17:20 **閉会挨拶** 流域圏学会・会長(松下潤)、大会実行委員会・委員長(村上雅博)
- 18:30-20:00 **懇親会**(土佐山山市内:土佐料理)

注 1) 9月28日(土)は、高知工科大学の食堂が営業日でないため、会場受付で11:00までに弁当を事前に予約してください。

注 2) 9月28日(土)の懇親会(土佐山山市内:土佐料理)への参加受付は、企画セッションが始まる15:50までとします。

9月29日(日) フィールド・エクスカージョン(鏡川)

[案内: 高知県・河川課] <調整中>

09:00 [集合] 高知市路面電車県庁前→県民文化ホール前を通り抜け徒歩5分[三翠園南の鏡川河川敷広場]

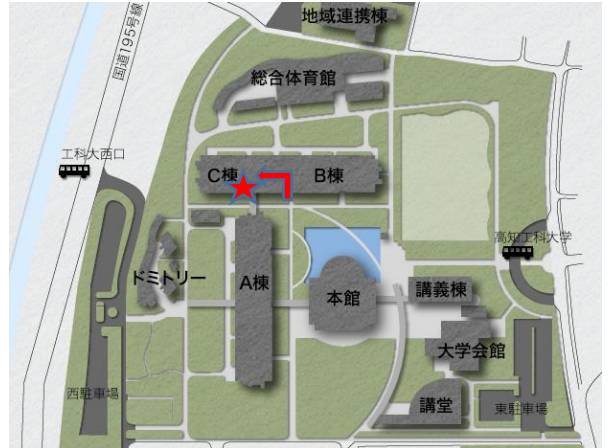
09:00-11:00 鏡川河口部→鏡川橋→鏡ダム

11:00-12:00 鏡ダム見学

12:00-12:30 移動: 鏡川ダム→市内(県民文化ホール前)

12:30 [解散] [県民文化ホール前/三翠園南の鏡川河川敷広場]

9月28日(土) 第三回流域圏学会・総会・学術研究発表会の会場案内



9月29日(日) フィールド・エクスカージョン(鏡川)の集合・解散場所の案内



第三回流域圏学会・大会実行委員長・村上 雅博

〒782-8502 高知県 香美市 土佐山田町 宮の口 185

公立学校法人 高知工科大学 環境理工学群

Tel. 0887-57-2418, Fax.0887-57-2520

E-mail : murakami.masahiro@kochi-tech.ac.jp

参加要領

1. 学術研究発表会の参加費他〈基調講演・特別講演およびポスターセッションとユースセッション(小・中・高校生の発表)は一般公開(参加費無料)されます〉

- 受付で大会参加登録をしてください。参加費は当日会場にて支払い、領収書をお受け取りください。
一般・会員 3000 円、 学生 (大学院生を含む) 1500 円
- 懇親会費は、一般・会員 5,000 円、 学生 (大学院生を含む) 2,500 円。
- 所属機関長宛の出張依頼書が必要な方は、返信封筒にご本人の宛先と 80 円切手をのり付けして、※流域圏学会事務局にご請求ください。

2. 総会・学術研究発表会場 (高知工科大学と鏡川見学集合場所) へのアクセス・交通手段 (添付の地図参照)

3. 総会・学術研究発表会に関するお問い合わせ

流域圏学会 第 3 回総会・学術研究発表会 実行委員長 村上 雅博

〒782-8502 高知県 香美市 土佐山田町 宮の口 185

公立学校法人 高知工科大学 環境理工学群

Tel. 0887-57-2418, Fax.0887-57-2520

E-mail : murakami.masahiro@kochi-tech.ac.jp

4. 学術研究発表会原稿の募集と提出について

第 3 回学術研究発表会 (9 月 28 日 (土)、高知工科大学) への講演申し込みを御希望の方は、下記の下記原稿執筆要領に従いまして、要旨集の原稿をご提出いただきますよう、お願い申し上げます。

★期限 : 平成 25 年 7 月 31 日 (水) 必着 〈原則、電子メールの添付ファイル (Microsoft WORD) での投稿をお願いします〉

② 郵送先・電子メール宛先 :

※流域圏学会事務局 高知工科大学 環境理工学群 村上研究室

〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮の口 185

TEL ; 0887-57-2418, FAX ; 0887-57-2420, E-mail ; murakami.masahiro@kochi-tech.ac.jp

③ 原稿枚数 : A4 版、2 ページ (口頭発表・ポスター発表とも)

【注意】A4 版で提出していただき、そのままの大きさでオフセット印刷をします。電子メールの添付ファイルでの原稿提出を基本とします。ワード (Microsoft WORD) の添付ファイルは、要領 1.4MB 以内の、ファイル名のフォーマットは [氏名 (フルネーム) + 日付 (2013.7.31)]、送付された添付ファイルを直接に開いてそのまま自動的にプリントアウトしたもの (事務局では一切の編集を加えません) を予稿集にオフセット印刷しますので、原稿内容とフォーマットに係わる全ての責任は筆者に属します。

④ 書式等 [ワードで作成された投稿原稿サンプル (テンプレート) をご希望の方は上記②宛先までメールで連絡]

- 原稿の総ページ数 : A4 版 2 枚 (本文中の活字サイズ : 10 pt、章題 : ゴシック体、本文 : 明朝体)
- 頁マージン設定 : 上・下・左・右隅のすべてを 25mm の余白
- 段落/行間⇒固定値 14pt
- 題名** (12pt 活字・**ゴシック体**、**ボールド**、センタリング) ⇒一行あけて氏名 (所属)
- 氏名 (所属) (10pt 活字・ゴシック体、登壇者 (講演者) に○印、センタリング) ⇒一行あけて本文
- 発表は原則として未発表のもので、一人一題 (発表者) に限り、投稿された原稿は返却しません

⑤ 発表方法 : 講演 (口頭発表) セッションには PC プロジェクター (Windows) を準備しています。USB フラッシュメモリ を持参の上、発表前の休憩時間等を利用して備え付けの PC の画面上にインストールして作動確認を行って下さい。ポスターセッションにおいては要旨の他、各自のポスター (A0 サイズ 1 枚のスペース) を準備いただき、受付の指示により指定のボード上にポスターセッションの開始時間以前に張り付けておいて下さい。要旨・ポスター・プレゼンは表彰委員会による優秀 (ポスター) 賞の審査対象となっております。連名は 3 名までとします。

⑥ 発表時間 : 講演は 1 題につき 20 分 (発表 10 分、質疑・応答 10 分) 以内です。発表者数によって多少の変更があり得ます。ポスター発表は番号順に一件当たり数分間以内のプレゼンを各位のポスター掲示版の前で行っていただきます。

⑦ 発表者 : 登壇者は流域圏学会の会員 (発表申込と同時の入会受付も可) に限ります。ただし、プログラムに記載する連名者は原則筆者以外に 3 名を限度とします。

注) 内容やスケジュールから判断して講演 (口頭発表) からポスターセッションに又はその逆に変更させていただくことがあります。変更がある場合は、事務局から事前に連絡させていただきます。

送付先: E-mail : murakami.masahiro@kochi-tech.ac.jp, FAX. 0887-57-2520

流域圏学会 第3回学術研究発表会(平成25年9月28日)参加申込書

- ・※印内は該当するものを○で囲んでください。
- ・但し、連名者で非会員の場合は正、学とも消してください。
- ・年齢は4月1日現在で御記入下さい。
- ・提出は1枚で結構です。控えは、コピーしてご自分でお持ち下さい。

題 目					
発表者 (連名の場合は登壇者の氏名の前に○をつける)	勤務先	会員種別 (※)	会員番号 (今回は不要)	氏名	年齢
		正・学			
		正・学			
		正・学			
		正・学			
連絡先	連絡者氏名： 住所：〒 E-mail: TEL: () - - FAX: () - -				
発表用機材 (○をつける)	(1)PC プロジェクター (2)ポスター				
発表形式 (口頭/ポスター)	第1志望	第2志望	要望事項等(具体的に記入してください)		
発表要旨 (100字以内) どのようなジャンル(分野)の研究か?が分かるように。					

以下の枠内は記入しないでください。

ジャンル	No.	会場	発表時間	備考